



新デスティネーション 青海省



◇青海省の概要

面積：72万1200平方キロメートル

省 都：西寧市

人 口：539万人

地 理：中国の西北部、青藏高原の東北部に位置する。北部から東部にかけて甘肅省、南東部は四川省、南部から西部にかけてチベット自治区、西北部は新疆ウイグル自治区と接する。

地域性：黄河、長江、メコン河の水源地帯となっている。漢族（54％）、チベット族（23％）、回族（16％）のほかにモンゴル族、土（トゥ）族、撒拉（サラ）族などの少数民族が居住している。

気 候：大陸性高原気候。昼夜の温度差が大きく、年間の温度差は小さい。年平均気温は $-5.6\sim 8.9^{\circ}\text{C}$ 。5～10月は昼が長くて夜が短く、旅行に適している。年間降水量は50～400ミリと少ない。



(略図)

日本旅行業協会（JATA）が9月12・15日に東京・有明の東京ビッグサイトで開催した「JATA旅博2013」の中国ブースで、中国国家観光局は、新しいデジタルネイションを前面に押し出したブース展示を行った。その二つが青海省だ。注目が高まる青海省の観光の魅力を紹介する。

中国北西部に位置する標高五千級の山脈にはト族の音楽や舞踊は観光青海省の省名は、中国最雪峰、水河が広がり、黄資源としての価値も高河、長江、メコン河の源い。

湖に由来する。青蔵（＝流）に於いてい。

青海省の省都、西寧と

チベット自治区の区都
チベット自治区のラサ
ラ薩(ラサ)を結ぶ全長
1956kmの青蔵鉄道
の民族が生き、文化が溶
け合い、共生してきた場

高原の3分の
1を占める自然景観が豊
かな省だ。

総面積は、新疆ウイグル自治区、チベット自治区、内モンゴル自治区に次いで中国内で4番目に広い。一万山の祖と呼ばれるど仏教芸術である熱貢（レゴン）、玉樹チベット客が絶えない。



大自然と多民族の文化



- ① 黄河源流。青海省は黄河、長江、メコン河の水源地帯となっている
- ② 崑崙山玉虚峰
- ③ 中国最大の内陸塩湖、青海湖。面積は4540.0平方キロメートルで周囲360キロメートルにおよぶ
- ④ 金銀灘景勝地。北側の渾原に金露梅とツバキと黄金色の花が、南側の渾原には銀白の銀露梅が咲く
- ⑤ 海北チベット族自治州にある剛察仙女湾
- ⑥ 門源県では毎年7月に国際菜の花祭りが開かれる
- ⑦ 大扎（ジェンザ）県の黄河風景
- ⑧ 互助トウ族民族故郷園景勝地。民族特有の民家、生活習俗、スポーツ（写真）などを見学できる
- ⑨ 民族衣装に身を包んだチベット族の娘たち
- ⑩ 果洛チベット族自治州の村
- ⑪ 熱貢（レゴン）芸術の里。チベット族やトウ族の僧侶が宗教絵画・彫塑・石刻などを制作している